

令和2年度 第2回 定例会 まとめ

部会	報告及び議題(概要)	意見交換	今後の方向性
精神	＊研修会について(講師に内布氏を招いて) ・家族支援教室(保健所主催) ・協議会研修会(自立支援協議会主催) ⇒12月に開催予定が、3月に延期 ＊部会の地域開催(瀬戸内町ケアマネ研修会と合同開催) ⇒ケアマネージャーや相談支援専門員へのクライシスプラン普及の目的で実施 ＊事例検討 ・治療や入院に拒否的な人の支援について ・自殺未遂を繰り返す人の支援・医療への繋ぎ方について ＊成年後見制度を含めた金銭管理の課題について		
相談支援	＊市町村による計画相談事業所への説明会の開催について ⇒年内実施に向け協議・意見集約。毎年継続・定期開催を予定 ＊難病者の障害福祉サービス利用に関する課題 ⇒居住地による支援度の差や、福祉用具が障害の進行段階に合わせて選択出来ない等の現状の課題の共有・検討 ＊障害がある方の金銭管理について ⇒現状の課題や支援事例についての情報共有 ＊ケース発表会(事例検討) 「卒後に向けて、本人が安心できる生活」	※グループ協議 『地域で生活する障がいがある人の金銭管理支援の現状と課題』 ◎前段として、社会福祉協議会より奄美地区の日常生活自立支援事業の金銭管理の現状について説明があった ①障がいがある人の地域生活を支援する時に、金銭に関わる課題としてどういう状況があるのか (制度上の問題や人材不足) ・社協の日常生活自立支援事業を利用することが望ましいが、利用希望者に対して人材が不足しているため、仕方なく相談支援専門員や事業所が金銭管理に関わらざるを得ない状況がある ・事業所や個人で金銭管理を行うのは責任が重い・不正が行われる可能性もある ・成年後見制度では対応できないケースや、申請しても時間がかかるのでその間の対応が必要 ・保護費を計画的に使うことが難しいので、生活保護のワーカーの協力が必要	※グループ協議について グループ協議で共有した金銭管理についての課題や現状・出された意見やアイデアをもとに、地域における金銭管理支援のあり方について共通ルールや支援の仕組みの構築を検討していく。
子ども	＊第3回子ども部会(11/13) ・「障害福祉計画」について市町村担当者より説明及び提言依頼 ・意見交換(「市町村障害児計画」への提言) ⇒事業所等資源の不足・医療的ケア児の保育や教育機関の受け入れ推進と体制整備・発達検査の人材確保・教育機関と外部機関の連携推進・地域の障がい理解拡大 など ＊子ども支援net＝1/21北部地域。多職種による地域課題の共有・ネットワーク・連携作りの場として開催予定 ⇒コロナ感染対策のため中止 ＊地域の支援者に向けた勉強会の取り組み ・コグトレ勉強会 ・そだちサポート勉強会	(支援上困ること) ・本人の理解や意識が乏しく、管理することを納得してもらえない(精神障がいの方は特に、信頼を得るのに時間がかかる) ・ギャンブルや買い物などの依存がある方の金銭管理が難しい ・事業所と利用者に対立関係になるとサポートしづらくなる ・本人と管理する側の意見の食い違い (本人や家族の理解・意識) ・家族や関係者が金銭管理の必要性を感じていても、本人が望まない ・お金が目の前にあると管理を拒否して使ってしまう ・計画的にお金を使う経験や訓練をしてきていない ・金銭管理や契約についての理解自体が難しい ・手元に現金がなくても、クレジットカードや携帯でのクレジット払いで借金が膨らんでしまう ②課題を解決するための参加者からの提案	
就労支援	＊就労ネットワーク会議及び連絡調整会議の実施(11/11) ・障害者雇用に係る事業所の事例発表 ・グループ討議 大島地区の「障がい者の一般就労」を拡大推進するための具体的な取り組みについて ＊新型コロナウイルス感染症対策説明会について ⇒行政より、通所系事業所を中心に説明会を開催予定(2月) ＊農福連携について ⇒販路拡大やブランド化など本格的な農業への取り組みのためのプロジェクトチームを立ち上げる ＊障害者就労に関するバス運賃補助の要望について ⇒より具体的な要望のためのアンケートを実施予定	(ルール化や制度への提案及び人材育成) ・事業所や施設が合法的に管理できる体制が必要 ・管理するにはチェック機能体制を整える必要がある ・支援するには報酬などが必要 ・生活保護費から必要な支払いは先に引き落とされるなど、個々の能力に応じたお金の渡し方ができないか ・生活支援員の増員・地域の有償ボランティアの育成・活用 (関係機関との連携) ・金銭管理の課題を多くの関係者で共有する ・金融機関と相談支援専門員・ケアマネが連携する ・自立支援協議会を通じて共有・検討する (予防的対応) ⇒金銭管理能力を上げるための教育(幼少期から学ぶ機会を) (本人や家族等の意識改善) ⇒家計簿や日記を使用するなどの意識づけ	※協議会研修会 12/5に開催予定だった精神障がい当事者でピアサポーターの内布智之氏を招きシンポジウム(新型コロナウイルス感染拡大予防のため延期) ⇒3月中旬に実施予定で講師と調整中 ※リモート研修の実施 ・精神保健福祉研修(自立支援協議会精神部会研修) 2/1 講話 精神医学の基礎知識について web研修 ・そだちサポートプロジェクト 2/23 オンラインセミナー・事業所交流会 ・オンデマンド配信による研修会(随時)
地域生活	＊地域移行・居住支援プロジェクトの実施 ・プロジェクト対象者選考 ・支援会議(4回実施) ・本人への具体的な講習会(3回実施・ガイドブック活用) ⇒住居が決まり、保証人の問題もクリアできたが、本人が転居をしないという決断をしたため、支援は終了となった ＊宅建協会作成のガイドブックを参考に、「奄美版一人暮らしガイドブック」を作成中		※「障がい理解拡大」に向けた取り組み ・出前授業 ⇒12/9に龍郷小学校で実施した際の感想や意見、改善点を活かし、次年度以降も継続して行っていく ・奄美思いやり拡大プロジェクト ⇒引き続き駐車場のブルーカラー化の推進の取り組み・導入事例の紹介を行っていく